



## じいちゃんたちが少し抗ったおかげと 思ってもらえるといいよね

ゲスト **TOSHI-LOW** ミュージシャン/BRAHMAN/OAU

聞き手: Misao Redwolf (首都圏反原発連合)



### その責任の中の一個はオレの一個なんじゃないか

**Misao** 3.11東日本大震災と福島第一原発の事故は、TOSHI-LOWさん  
にどう影響を与えましたか？

**TOSHI-LOW** それまで、自分がパンクスとして生きてる中で、反戦とか  
反核を歌詞に織り交ぜているバンドが好きだったから、そういうものにす  
ごく興味はありました。でも、自分は何か行動しているわけじゃないし、  
ファッション的なものだけが好きなのかな、という居心地の悪さがすごく  
あって。

鎌仲ひとみさんの映画『六ヶ所村ラブソディー』がでたときも、教授(坂  
本龍一)が動いて、そのまわりにいたファッション業界の人たちが映画を  
広めようとしていて、オレも誘われたんだけど、なにか思っはいても、少し  
距離をおいていたんです。別に何か言っても変わるわけじゃないだろうし、  
みたいなスタンスで。

だけど、3.11東日本大震災が起きて、すべてがひっくり返りましたね。避  
難するとか支援するという、いろいろな選択肢がある中で、自分は3月12日  
の夜には福島県境に、人っ子ひとりない方に向かって行くという選択を  
して動きました。出産して里帰りしている友達の奥さんが、北茨城に取り  
残されていたんです。

**Misao** そのとき、原発のことは意識していましたか？

**TOSHI-LOW** 原発については、イヤな意味の予測は立っていたわけじゃ  
ないですか。爆発の映像をみて、その責任の中の一個はオレの一個なん  
じゃないかなと思って。『六ヶ所村ラブソディー』のときもコメントを頼ま  
れたりしたのに、何もなかった。でも、そういうスタンスでいたからこそ、  
逆に、その後の選択肢については後悔しないようにしようと思いました。

**Misao** 細美武士さんが、真っ先にTOSHI-LOWさんが物資の支援に動き  
出したとおっしゃってました。

**TOSHI-LOW** このあいだ、福島のJビレッジに歌を歌いにいったときに、  
「あのときは、オムツをありがとうございます。もう8歳になりましたよ」と  
言われたんですが、直に言葉をかけられたのは初めてでした。報われたい  
と思ってやっているわけじゃないけど、行動をしてきてよかったなと思い  
ました。もし行動していなかったら、ずっと罪悪感みたいなものを引きずっ  
たまま、また目を伏せる。まあ、仕方がないじゃん、みたいな感じにしか  
なかっていいと思います。



### それは卑しいか卑しくないか

**TOSHI-LOW** 自分がなにかするかしないかということ、それは卑しい  
か卑しくないかということをおれはすごく考えていて。自分がその未来に  
対して卑しいか卑しくないかだけで動いているから、結局は全部、自分の  
ためなんですよ。大人で原発事故を知っていて、子供たちがいて、未  
来を考えたときに、自分がどういう意見をするべきか。それは、自分の  
ライフスタイルの一環というか。

**Misao** ライフスタイルの変化として、3.11を境にライブイベントの『NO  
NUKES』に出演したり、原発反対の意思表示をされるようになりました  
が、アーティストでそういう意思があっても発言しない人たちについて  
どう思われますか？

**TOSHI-LOW** 以前は自分もそのうちの一人だったわけで、その気持ちも

わからないわけではないよね。そんな主張をするよりも、いろいろな人に  
買ってもらったほうが得だと、思っているんだから。でも本当は、売上なんて  
変わらないと思うし、そもそも、それに影響されるようだったらそれだけの  
アーティストだし、売れないのは音楽がよくないだけの話。

やはりオレは、売れることを考えて自分の歌詞に物語を書くよりは、理  
想であってもウソではない気持ちを書きたいから、そうするとライフ  
スタイルとして普段の自分がなにをするかが根本じゃないです  
か。だから、自然と原発反対の意思表示をしたけど、一番初めに  
『NO NUKES』みたいなところにポーッと触れた瞬間のワーツと  
した、出る杭を打つみたいな感じももちろんわかったしね。



**Misao** 被災地支援のボランティアをすることへのバッシングもすごかった  
と聞いてます。

**TOSHI-LOW** でも、それもわかるんですよ、自分もそっち側だったから。  
自分は何もやってないしみたいな、なにが罪悪感があるんだろうな、と。  
そういうイヤなモヤモヤとしたものが、簡単に人を叩いたり足を引っ張ること  
で、スッキリした気が一瞬するんだろうなと思います。だけどそれでモヤモ  
ヤがなくなるわけじゃないから、また次の人を探さなければいけないです  
か。でも、それとずっと地獄だよ。

**Misao** その船から出ちゃえばいいんですよ。

**TOSHI-LOW** 大きく言えばオレもその船に乗っているのかもしれないけど、  
船に乗らないように生きようと思うよね。オレらみたいにイカダで動い  
ていると、大きな船がいかにかんどういうことで動いているかわかることも  
あるしね。

### 今年の3.11

**Misao** デモについてはどう思われますか？

**TOSHI-LOW** 反原発主催のデモにも行けるときには行っていました。決  
壊した日は子供が行きたいと言うので連れて行ったんですが、感動しま  
したね。地下鉄の4番出口あたりにいたのかな。あの頃は自分も表明して  
なにかをするということが、迷っていたわけじゃないけれど、やり方がわから  
なかったから、頭数の一人になりたいと思って行ってきましたね。

**Misao** あれから6年以上経って、私自身、当時の記憶が薄れつつあるん  
ですが、まだ事故も収束してないし、避難している人たちが5万人以上いら  
っしゃいます。

**TOSHI-LOW** 今年の3.11の日に双葉に行ってきたんです。町役場の人の  
案内で小学校に入ったんですけど、あの日のままだですよ。下駄箱に靴  
が半分くらい入っていて、みんな上履きで帰ったんですね。ランドセルも置  
いてあって。ちょうどモップがけをする時間で、モップがそのまま倒れて  
置いてあるという、14時46分の情景が、そこにはまだそのまま残っ  
ていて。

町人は原発がどうかとは言わないんです。これを見て感じたことを  
伝えてくださいと、それだけなんです。小学校に行く前に、双葉側から見  
える5号機、6号機や汚染水のタンク、土壌をきれいにしている場所などを  
全部見せてくれたんですが、ああ何てものをつくって何てものに頼っていた  
のかと思うしかなかったです。

## Walk and Talk it 真実味を求め厳しい現実も描くという「フェアネス」—— 映画「我等の生涯の最良の年」



W・ワイラー監督『我等の生涯の最良の年』(米・1946年)で、復員兵が直面する問題が描かれている。アルは息子から放射能の広島の人々への影響を見たかと聞かれ、フレッドは就職に悩み夜は戦場の悪夢に苦しむ。ホームーは負傷で義手を装着しており、憐れみはいらぬ、と家族や恋人から心を閉ざす。

製作のS・ゴールドウィンは「ハリウッド的ではなく真実味のあるものを」と脚本家に伝えていたという。フレッドが、日本やナチスは共産主義を絶滅出来たのにホームーの義手は無駄な犠牲だった、という男を殴るシーンがあり、ワイラーは戦意高揚映画も戦時中撮っていた。これは

愛国的な作品でもあり、同時に「真実味」を追求することにより復員兵の厳しい現実が描かれることになったのだ。日本原子力産業協会が4/8にサイト「あつまれ!げんしりよくむら」を開設しすぐに閉鎖したのは奇妙な事件だった。『我等〜』が真実味を求め厳しい現実も描く、という「フェアネス」に帰着したのとは異なりただ煽り、戯れがあり、協会が私たちを小馬鹿にしている、という印象だけが残った。反戦映画、ではなかった『我等〜』の「フェアネス」とは遠く離れたこの協会の今井敬会長は、原発再稼働に尽力した今井尚哉内閣総理大臣秘書官の叔父に当たる人物だ。(TH)

## PICK OUT! OAU ニューシングル 『帰り道 / Where have you gone』

TFCC-89670 / ¥1,000- (税抜)  
2019年6月26日(水) 発売 \*ダウンロード/ストリーミング同時解禁

テレビ東京系ドラマ24「きのう何食べた?」のオープニングテーマの「帰り道」は、ノスタルジックなメロディーにTOSHI-LOWのあたたかな歌声が染み入る楽曲で、ドラマ放送直後からカバー動画が次々に投稿されるなど、大きな反響を呼んでいる。

映画「新聞記者」の主題歌「Where have you gone」には、コーラスとして細美武士(the HIATUS/MONOEYES/ELLEGARDEN)も参加していて、劇的なフィナーレを迎える荘重な作品となっている。



**Misao** 5年後、10年後に双葉はどうなっているんでしょうね。

**TOSHI-LOW** おそらく、更地になって中間貯蔵施設ができてるんじゃない  
でしょうか。除染するか家を壊すか、どちらかのお金は町から出る。でも、  
除染と言っても別に数値を測るわけでもないから、ほとんどの人が家を壊  
す方向に行く。双葉に住んでいるけど、原発はない方がいいと思っていた人  
たちもいたと思うし、その人たちは、はだしのゲンのお父さんみたいな感じ  
なんだろうなと思いますね。故郷を奪われた上に、そこに呪いみたいなもの  
がずっとあるというね。帰れない故郷があって。

### 日本にとっての武力

**TOSHI-LOW** 大人って浅ましいんですよ、たぶん。戦後、子供たちが「ギブ  
ミー・チョコレート」と言って米兵からもらったチョコレートを、ガンと  
殴ってとったのは大人たちだったんですよ。大人は、自分で意識していな  
いとどどん浅ましくなるんだと思います。

でも、大人の利点として、悪いことも想像できる力がありますよね。例え  
ばなんで安倍がそんなことをするのかできる限り想像してみると、そうか、  
まわりにこういう人がいて、こういう人たちはこういうことで動いていて組  
織の論理があるのかと。大きなプラントを潰すという方向よりは、なんとか  
して動かして、国のお金を持ってきた方がいいだろうとか、一回潰して自分  
の友達の建設会社を入れた方がいいだろうとか。そういうことが、見えて  
くるものがありますよね。で、見えてきた中で、やはりこれはきらいだわ、と  
思うわけですが。

**Misao** そういった、浅ましい大人たちの思惑がはずれて、いまは原発推進  
が難しくなっている状況ですし、核抑止力なんていうのは冷戦時代の負の  
遺産でしかないと思います。

**TOSHI-LOW** いまは廃炉技術を世界的にもすごく高められるチャンスな  
のに、もっと先のチャンスをみすみす捨てている気がしています。『繁栄の  
花』という星新一のSF小説があるんですが、宇宙人がある花を地球人に  
売って、それがすごくいい花だからと地球人が勝手に増やしちゃうんです  
よ。結局、その花は増やすと永遠に増え続けて枯れないので困ってしまう。  
そこで宇宙人がその花を食べるミツバチ的なやつを売りにくるんですが、  
宇宙人は本当はそっちを売ってたんだという話で。

「そっち」なのになど、オレはすごく思っています。本当は、いま原発うん  
ぬんというよりは、それに対して本当に国力をかけて核のゴミを減らせる技術  
ができたら、それが日本にとっての武力になるのになど思っていますけど  
ね。

**Misao** 自分たちが生きてる間にリセットしたいですね。

**TOSHI-LOW** リセット、早くそういう代になるといいなと思っていますし、  
いずれなるとは思っています。子どもたちの世代に、じいちゃんたちが少し  
抗ったおかげと思ってもらえるといいよね。

インタビュー全文はこちらでご覧いただけます  
<http://coalitionagainstnukes.jp/?p=12550>



次回予告 NO NUKES! human chains vol.09 (2019年8月号掲載)  
このインタビュー・シリーズでは、ゲストのかたに次のゲストをご紹介します。  
TOSHI-LOWさんからは、横山健さん(ミュージシャン/Ken  
Yokoyama/Hi-STANDARD/BBQ CHICKENS)をご紹介します。